



平成29年11月30日
箕面保育園

早いもので、今年も後1ヵ月となりました。今年には11月にはいって急激に寒くなり、かぜでお休みした子どもたくさんいました。園ではこまめな手洗い・うがいを呼びかけ、かぜ予防をしています。ご家庭でもお子さまの体調管理に十分な配慮をお願いします。



冬のかぜについて

冬に流行するかぜには、発熱、鼻水、喉などが主症状の“鼻と喉のかぜ”と、嘔吐や下痢が主症状の“お腹にくるかぜ”（感染性胃腸炎など）があります。冬場、特に注意すべきはインフルエンザです。時に重症化することがあり、急な発熱や悪寒、筋肉痛・関節痛を伴うようなら、インフルエンザの可能性があるので早めに医師にかかりましょう。



自宅では、部屋を保温・加湿し、脱水症状が出ないよう、水分補給には十分注意しましょう。

スキンケアの基本は 清潔と保湿

子どもは首、肘、膝の裏に汗や汚れがたまりやすく、皮膚の刺激になります。入浴の際にはしっかりと石鹸を泡立て、泡で身体をマッサージするように洗いましょう。子どもの皮膚は、大人の約半分の薄さといわれており、肌のバリア機能も未熟です。冬は特に乾燥しやすくなりますので、入浴や手洗いのあと、保湿クリームを塗るなどの日常的なケアを心がけましょう。

病後児保育のご利用案内

保育園では、病気回復期の子どもたちに、子どもの体調に合わせた育を行っている病後児保育室をお勧めしています。

利用できる子どもの状態

下記①の回復期と②の両方に該当する児童

- ①麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、溶連菌感染症、突発性発疹、ヘルパンギーナ、とびひ、百日咳、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、咽頭結膜熱、上気道炎、感染性胃腸炎、肺炎、骨折などの外科的疾患
- ②上記の回復期において、体温が38℃未満の児童

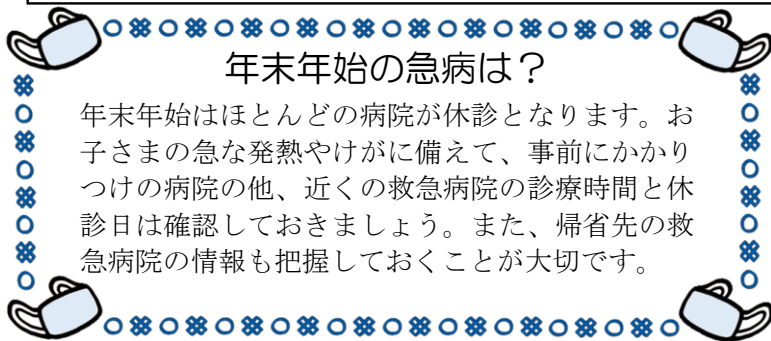
実施場所

- 桜ヶ丘保育所内病後児保育室
- 萱野保育所内病後児保育室（H30年1月より工事予定）
- 東保育所内病後児保育室

定員：各所2名/日

開室時間：月曜日～金曜日 午前8時～午後6時
土曜日 午前8時～午後1時

詳しくは箕面市病後児保育の利用案内をご覧ください
利用案内は保育園にもあります



年末年始の急病は？

年末年始はほとんどの病院が休診となります。お子さまの急な発熱やけがに備えて、事前にかかりつけの病院の他、近くの救急病院の診療時間と休診日は確認しておきましょう。また、帰省先の救急病院の情報も把握しておくことが大切です。

11月の感染症

手足口病…6名 流行性角結膜炎…2名
インフルエンザA…1名 突発性発疹…2名